



SDGsを取り入れた授業

所長 宮里 寧

本年度も残りわずかとなりました。各学校におかれましては、「学校の新しい生活様式」の中で見られた子どもたちの本年度の努力や成長を認め、励ましたり、次年度における計画の作成に取り組みたりと、年度末の忙しい時期を迎えておられることと思います。

さて、学習指導要領の前文では、これからの学校教育は「持続可能な社会の創り手」の育成こそを目指すべきだと明記しています。ここである「社会の創り手」は、「持続可能な開発目標（SDGs）」の担い手」と言い換えることができるものです。

SDGsの達成期限は2030年、この先の10年が、とても重要になります。

一、「SDGs」とは

SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは「Sustainable Development Goals」の略称で、「持続可能な開発目標」と訳します。2015年9月に国際連合（国連）に加盟する193か国の全てが賛成して採択されました。世界のあらゆる人々が協働して解決に取り組むべき17の目標から構成されます。留意すべきことは、その取り組みに際しては、児童生徒にも求めているということです。

SDGsは、2000年9月に国連サミットで採択されたMDGs（Millennium Development Goals）／「ミレニアム開発目標」が2015年に達成期限を迎えたことを受け、それに代わる新たな目標として定められたものです。MDGsが先進国による開発途上国への支援を中心とした内容であったのに対し、SDGsは「先進一人として取り残さないこと」を目的に、先進国と開発途上国が一丸となって達成すべき目標である点に特徴があります。その達成期限は、2030年です。

SDGsは、17の目標と、目標内に設けられた合計169の達成目標（ターゲット）から構成されます。達成目標にまで目を向けることで、SDGsの理解がさらに深まります。

二、「授業にどのように取り入れるの」

SDGsの授業に取り組みにあたって考えるべきことは、どの教科・領域で実施するかということです。

ここで、SDGsの17の目標に目を向けてみます。「①貧困」「②飢餓」「③健康と福祉」「④教育」「⑤ジェンダー」「⑥安全」「⑦エネルギー」「⑧労働」「⑨産業」「⑩平等」「⑪まちづくり」「⑫生産と消費」「⑬気候変動」「⑭海洋」「⑮陸地」「⑯平和」「⑰パートナーシップ」となります。ここから「どの教科・領域で」ということで考えると、小学校であれば「社会」「理科」「家庭」「道徳」「総合的な学習の時間」、中学校であれば「社会」「理科」「技術・家庭」「道徳」「総合的な学習の時間」において、その実施が十分に可能であることがわかります。

もちろん、SDGsの授業はこれらの教科・領域で限定的に実施されるわけではなく、SDGsの授業は「国語」の説明文教材にはSDGsの内容を含んだものが多くみられます。例えば、「図画工作」や「美術」において、SDGsを意識した創作活動を展開することもできるでしょう。工夫次第で、全ての教科・領域においてSDGsの授業は可能となります。また、SDGsに基づく教科横断的な視点から必要です。「カリキュラム・マネジメント」の理念に則り、教科横断的な視点からSDGsに基づく教育課程編成を行います。学校全体でSDGsに取り組むことにより、「社会の創り手」の育成はより現実味を帯びてきます。特色ある学校づくりを目指すにあたり、SDGsは多くのヒントを与えてくれます。SDGsの目標は、行動目標です。目標を達成するために、私たちが行動することを目指しています。具体的に授業づくりを進めるにあたっては、地域の協力を得た児童生徒の「社会参加活動」に目を向けてみませんか。

令和3年度 4月の主な事業

- 1日 (木) 第1回初任者研修【厚生会館】
- 2日 (金) 第1回初任研指導教員連協会【厚】
- 5日 (月) 第1回中堅教諭等資質向上研修【厚】
- 6日 (火) 第116期教育研究員入所式【厚】
- 7日 (火) 小中学校 始業式
- 8日 (水) 小中学校 入学式
- 12日 (木) 第1回初任研校長連協会【厚】
- 15日 (木) 第2回初任者研修【厚】
- 19日 (月) 臨任非常勤学級・授業づくり講座【研究所会議室】
- 20日 (火) 第1回教職2年目研修会【厚】

※ 年度初めの計画等に位置付けて、関係職員等への呼びかけをお願いします。

3月の教育研究所事業予定

- 11日 (木) 第14回 初任者研修・閉講式
【市庁舎12F】
- 24日 (水) 初任研に係る時間割等説明会
【厚生会館】
- 26日 (金) 第115期成果報告会・修了式
【厚生会館】

教育研究所諸事業へご協力のお礼

令和2年度も教育研究所の各事業に御理解、御協力を賜り感謝申し上げます。各学校におかれましては、法定研修（初任者研修・中堅教諭等資質向上研修）やその他研修、各種講座への職員の派遣等への御配慮ありがとうございました。

令和3年度の研修・講座につきましても、研究所所長はじめ指導主事一同、教職員の資質向上をめざして取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。